長崎県平戸市

議会だより

2018.11.1 発行
9月定例会 Number 59

とかいせん

渡海船

平戸市議会 検索

CONTENTS

■ 表紙／コーラスグループ「ひまわり」の皆さん
■ ここに注目（主な内容） 2
■ 常任委員会報告 4
■ 9月定例会で審議された案件 6
■ 政務活動報告 7
■ 市政を問う（一般質問 7人） 8
■ 子ども議会開催 12
■ 平戸のチカラ（コーラスグループ「ひまわり」） 14

このコーナーでは平戸で元気に頑張っている女性の皆さんをご紹介します

平戸のチカラ

コーラスグループ「ひまわり」

コーラスグループ「ひまわり」は、25人のメンバーで、毎月第２・第４木曜日に多目的研修センターで練習されています。館内に響き渡るすてきな歌声をあたなも一緒に奏でてみませんか。

Q 活動を始めたきっかけは？

A 10年前、地域の敬老会の出し物として20数人の混声メンバーでコーラスを披露した際に、ご老人の皆さんが涙を流して喜んでくださったことがきっかけです。その姿を見て、私たち自身も感動を覚えるとともに、コーラス（歌）にはまちを明るく元気にする力がある。みんなで「まち」を「人」を元気にしたいという思いで活動を始めました。おかげさまで、今年８月で結成９年を迎えることができました。

Q どのような活動をされていますか？

A 南部地区で開催される奥ひらど文化祭やホタルまつり、津吉茶市などのイベント、老人ホームの敬老会やお祭りの時などに歌声を披露しています。皆さん楽しそうに一緒に歌を口ずさんでくださり、楽しくすてきな時間を共有しています。

また、今年は一緒に津吉茶市を盛り上げようと初めてカフェをオープンし、皆さんに喜んでいただきました。

歌を歌うと肺活量がアップして健康になれますし、認知症予防にも効果的だと思っています。また、練習などに参加するために、定期的に出かけるきっかけを作ることで、引きこもり防止にもなるのではないでしょうか。

Q 今後の目標を教えてください。

A メンバーも十人十色、みんないろいろな考えを持っていますが、１カ所で同じ歌をみんなで歌うと心が一つになり、この一体感・団結力が聞く人にも届くのではないかと思っています。南部地区には頑張っている人がたくさんいます。

私たちはこれからも、このすてきな地域で歌を通じて元気を発信していきます。

▲練習の様子
（多目的研修センターにて）

▲奥ひらど文化祭での発表の様子
（多目的研修センターにて）

▲ホタルまつりでの発表の様子
（上中津良公会堂にて）

広報特別委員会

委員長	山﨑	一洋
副委員長	池田	稔巳
委員	井元	宏三
委員	小山田	輔雄
委員	松尾	実
委員	山田	能新

編集後記

鏡を見ながら歌う彼女たちのレッスンはとても絵になった。リーダーの方は、「歌を通して地域を活性化していきたい」と。その声は頼もしい。皆が一カ所に集まって輪になって心が一つになる。歌を合わせることから人の輪ができる。「皆さん努力家で素直に一生懸命練習に励むので成長が早いです。私も楽しく指導する事ができます。」

舞台に立った時、見ている人が一緒に歌うことで一体感が生まれ、「皆さんにも生の歌を聞いてほしい！」と皆の声が弾む。自分の歌っている表情を考えるだけで、笑顔が生まれ、自分を見つめることができる。「自分が楽しいので、他の人に対しても笑顔で対応できるようになった」と、自分を振り返る会員。

南部地区の行事を中心に参加の輪を広げている。歌を通して地域を見つめ、世界平和を奏でている皆さんは、とてもすてきでした。

（小山田輔雄）

編集・発行 平戸市議会広報特別委員会
平戸市岩の上町1508-3 TEL22-4111 FAX22-3427 e-mail：gikai@city.hirado.lg.jp
印刷 有限会社ケンホクプリント